

女神さま・オープンの運用状況

米国連続増配成長株オープン(愛称 女神さま・オープン)
追加型投信/海外/株式

2018年4月27日

当レポートでは、米国株式市場の足元の動向と注目されるスピノフ（分社化）及び、今後の当ファンドの運用方針についてお伝えいたします。

1-3月期企業業績への期待から上昇

4月の米国株式市場は上昇しました(4月23日現在)。貿易摩擦への懸念や、米国のロシアに対する経済制裁などの悪材料があったものの、1-3月期の企業業績への期待感から月後半にかけて上昇する展開となりました。

業種別では、原油や金属価格の上昇を受けて、エネルギーや素材セクターの上昇が大きくなりました(図表1)。

スピノフ（分社化）について

5月上旬に、大手資本財企業であるペンテアとドーバー・コーポレーション(以下、ドーバー)が、スピノフ(分社化)を実施します。スピノフとは、企業が事業部門を別会社として分社化し、独立させることです。

スピノフには、様々なプロセスがありますが、上場企業が行う場合、その企業の株主には、独立した新会社の株式を無税で割り当てられるのが一般的です。ペンテアの場合、株主は1株につき新会社の株が1株、ドーバーの場合、株主は2株につき新会社の株が1株割り当てられます。

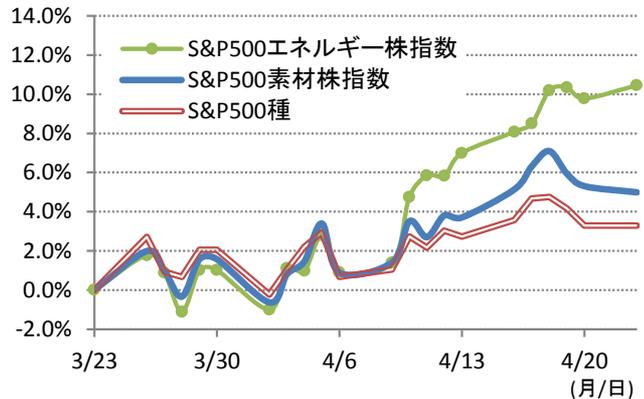
分社化というと、経営不振の企業が生き残りをかけて行うリストラのような印象を受けますが、欧米企業ではスピノフは、建設的な企業戦略の一つと考えられています。図表2は、現在スピノフを発表している主な企業です。

スピノフの効果

スピノフで期待される主な効果として、第一に考えられるのは、事業を絞り込むことによる経営の最適化です。複数の事業を行う企業では、経営資源の集中投資が困難であったり、意思決定プロセスに予想外の時間を要してしまうリスクがあります。分社化することで、経営資源を集中して投資ができ、迅速な意思決定が可能となります。

図表3は、S&P500種とS&P米国スピノフ指数の年初来の推移です。S&P米国スピノフ指数は、米国で直近4年間にスピノフによって分社化された企業で構成される指数であり、同指数の年初来リターンは、S&P500種を上回って推移しています(4月23日現在)。

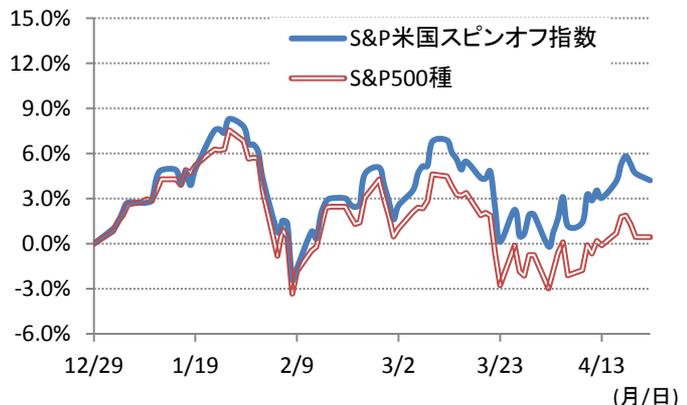
図表1 S&P500種とエネルギー株、素材株指数の推移
(2018年3月23日～2018年4月23日、日次、配当込み、米ドルベース)
(注)3月23日を起点とした騰落率の推移



図表2 スピノフを予定している主な企業

企業	概要	分社日
ペンテア	バルブ・ポンプメーカー。電気機器向け部門をスピノフ。	5/1
ドーバー・コーポレーション	産業機械メーカー。石油・ガス向け部門をスピノフ。	5/9
ヘンリー・シャイン	病院・歯科医院向け用品の供給会社。動物病院向け部門のスピノフを発表。	未定
ハネウェル・インターナショナル	産業コングロマリット。自動車向け部品と住宅用空調装置のスピノフを発表。	未定

図表3 S&P500種とS&P米国スピノフ指数の推移
(2017年12月29日～2018年4月23日、日次、配当込み、米ドルベース)
(注)2017年12月29日を起点とした騰落率の推移



(出所)図表1,2,3は、Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

※本資料における銘柄紹介は、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン（愛称 女神さま・オープン）
追加型投信／海外／株式

運用状況（作成基準日 2018年4月23日）



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ	
基準価額(円)	13,511
残存元本(口)	2,775,762,640
純資産(円)	3,750,408,569
実質株式組入比率(%)	90.9
現金比率(%)	9.1
組入銘柄数	64

決算期	分配金(円)
第4期(2017年9月26日)	750
第3期(2016年9月26日)	0
第2期(2015年9月28日)	800
第1期(2014年9月26日)	1,000

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
 ※各決算期における分配金は1万口当たり(税引前)です。

組入上位10セクター			組入上位10銘柄			
セクター名	比率		銘柄名	セクター	比率	
1 資本財	15.7%		1 ハリス	資本財	3.3%	
2 ソフトウェア・サービス	12.2%		2 ネクステラ・エナジー	公益事業	2.8%	
3 ヘルスケア機器・サービス	11.0%		3 フォーティブ	資本財	2.8%	
4 各種金融	7.4%		4 アボットラボラトリーズ	ヘルスケア機器・サービス	2.7%	
5 小売	7.1%		5 アドビシステムズ	ソフトウェア・サービス	2.7%	
6 公益事業	4.9%		6 アルファベット	ソフトウェア・サービス	2.5%	
7 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.5%		7 コルゲート・パルモリーフ	家庭用品・パーソナル用品	2.5%	
8 銀行	4.4%		8 アマゾン・ドット・コム	小売	2.4%	
9 保険	4.2%		9 S&Pグローバル	各種金融	2.4%	
10 半導体・半導体製造装置	3.8%		10 アップル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.3%	

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

足元の運用経過と運用方針について

足元の運用につきましては、当初方針に沿って、ソフトウェア株の買付けを行いました。また、貿易摩擦の影響が相対的に小さいヘルスケア機器株を買付けました。一方、原材料価格の上昇がマイナス要因となる食品株の売却を行ったほか、短期的に需要鈍化が懸念される一部の半導体株を売却しました。

当面の米国株式市場は、もみ合いの展開を予想します。貿易摩擦に対する懸念から、投資家は、依然として慎重な姿勢を保っています。加えて、原油や金属等の価格上昇を受け、インフレへの警戒感が高まれば、株価は上値の重い展開になると考えます。一方、堅調な企業業績が株価を下支えすると期待されます。

当面の運用につきましては、長期金利上昇が業績の追い風となる金融株についてウェイトの積み増しを検討します。

以上
(作成:運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社で作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**米国連続増配成長株オープン（愛称 女神さま・オープン）
追加型投信／海外／株式**
米国連続増配成長株オープンに関する留意事項
【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.566%（税抜1.45%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社（1）

（受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれております。）

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
（金融商品取引業者）					
岡三証券株式会社	関東財務局長（金商）第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長（金商）第169号	○			
藍澤證券株式会社	関東財務局長（金商）第6号	○	○		
阿波証券株式会社	四国財務局長（金商）第1号	○			
今村証券株式会社	北陸財務局長（金商）第3号	○			
エイチ・エス証券株式会社	関東財務局長（金商）第35号	○			
永和証券株式会社	近畿財務局長（金商）第5号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長（金商）第6号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
共和証券株式会社	関東財務局長（金商）第64号	○	○		
極東証券株式会社	関東財務局長（金商）第65号	○			○
ごうぎん証券株式会社	中国財務局長（金商）第43号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長（金商）第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長（金商）第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長（金商）第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長（金商）第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長（金商）第170号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長（金商）第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長（金商）第8号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長（金商）第5号	○			
高木証券株式会社	近畿財務局長（金商）第20号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長（金商）第120号	○			
長野證券株式会社	関東財務局長（金商）第125号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長（金商）第25号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長（金商）第29号	○			
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長（金商）第152号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長（金商）第12号	○		○	
丸國証券株式会社	関東財務局長（金商）第166号	○			
三木証券株式会社	関東財務局長（金商）第172号	○			
三田証券株式会社	関東財務局長（金商）第175号	○			
明和証券株式会社	関東財務局長（金商）第185号	○			
豊証券株式会社	東海財務局長（金商）第21号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長（金商）第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長（金商）第72号	○			

販売会社（2）

（受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれております。）

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
（登録金融機関）					
大阪信用金庫	近畿財務局長（登金）第45号				
株式会社沖縄海邦銀行	沖縄総合事務局長（登金）第3号	○			
株式会社近畿大阪銀行	近畿財務局長（登金）第7号	○			
株式会社西京銀行	中国財務局長（登金）第7号	○			
株式会社埼玉りそな銀行	関東財務局長（登金）第593号	○		○	
株式会社佐賀共栄銀行	福岡財務支局長（登金）第10号	○			
株式会社静岡中央銀行	東海財務局長（登金）第15号	○			
株式会社島根銀行	中国財務局長（登金）第8号	○			
株式会社第三銀行	東海財務局長（登金）第16号	○			
株式会社大正銀行	近畿財務局長（登金）第19号	○			
株式会社トマト銀行	中国財務局長（登金）第11号	○			
株式会社富山銀行	北陸財務局長（登金）第1号	○			
株式会社富山第一銀行	北陸財務局長（登金）第7号	○			
長岡信用金庫	関東財務局長（登金）第248号				
播州信用金庫	近畿財務局長（登金）第76号	○			
株式会社福岡中央銀行	福岡財務支局長（登金）第14号	○			
株式会社豊和銀行	九州財務局長（登金）第7号	○			
株式会社北洋銀行	北海道財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社りそな銀行	近畿財務局長（登金）第3号	○		○	

<本資料に関するお問合わせ先>
フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）